実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名	(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
小浜市	国富地区	太良庄	平成29年10月	令和3年3月

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	77	ha			
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	40	ha			
③地区内における60才以上の農業者の耕作面積の合計	31	ha			
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	12	ha			
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.6	ha			
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	28	ha			
(備考)					

2 対象地区の課題

(1) 現状・課題

- ・これまで地域の中心となる農業者は、複数の認定農業者であったが、平成30年度に新たに一般社団法人が設立された。新法人では、離農者や土地持ち非農家の農地の受け皿となり、地域の農地の維持管理に取り組んでいくとともに、適切な農地利用調整を行い、担い手に再配分する事で分散錯圃状態の解消等農地利用の最適化にも取り組み、地域農業を守る組織として機能していく事が期待されている。
- ・野生鳥獣による農作物被害が多く、その対策に相当の労力を奪われている。
- ・当該区域の農地は、平成4年度に土地改良事業が完成し用排水設備が完了しており、平均区画30a規模の農地が形成されている。しかし、台風や集中豪雨により頻繁に農地が冠水することから、再整備による農地の嵩上げが必要である。
- 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針
 - ・認定農業者3名、(農)太良庄農産及び(一社)太良庄荘園の郷を中心経営体として位置づけ、集落の農地を集積・集約化していく。
- 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)
 - (1) 農地の利用調整と農地等の地域資源管理の最適化
 - ・(一社)太良庄荘園の郷が認定農業者の意向を踏まえながら農地の利用調整を行い、効率的に農地の集約化を行う。
 - ・ (一社) 太良庄荘園の郷と多面的機能支払交付金取組組織が連携して、農地及び地域資源の保全管理や景観形成に取り組む。
 - (2) 災害に強いほ場の整備
 - ・農地を嵩上げすることで災害に強く作業効率のよい圃場環境を整備するため、北陸新幹線の工事等に伴う大量の土砂を見込み、土地改良事業についての検討を進める。
 - (3) 鳥獣被害防止対策の取り組み
 - ・多面的機能支払交付金等を有効に活用した侵入防止柵の適切な管理や、獣害対策に関係する研修会の参加及び誘因物の除去等、野生鳥獣による被害を未然に防止する取り組みを地域ぐるみで行う。